



イスラエル最大のインターネットアプリケーション開発会社の1つである Perion の為に、柔軟性が高く、操作の簡単な AV システムをデザインする。

➡ ソリューション

クレストロンの技術を最大限に利用し、40 部屋から成るカンファレンスセンターを設立した。



Perion、新オフィスのネットワークシステムにクレストロンを採用

ユーザーエクスペリエンスを強化し、企業顧客にとっての効率性を増す、クレストロンのテクノロジー

Fusion が私達のほぼ不可能と思われたスケジュールを可能にする唯一の手段でした。”

— Ofer Oz
TripleT, Ltd.

ソフトウェアを開発する人たちのワークスタイルは？

Perion ネットワーク社にはその答えがあります。個々の開発者達に販売促進ツールを与え、彼らが開発するアプリケーションを最適化し収益をもたらすのです。

イスラエル主要地区テルアビブにあるこの企業の業績は素晴らしく、現在までに IncrediMail、Molto、PhotoJoy、SweetIM、Smilebox などを含む自社のブランドアプリケーションは、1 億 5 千万件以上もダウンロードされています。

しかしなら彼らの主な目的は、彼らが作った新しいアプリケーションを使い、他のソフトウェア開発者に収益をもたらす事なのです。

この企業は創業から多くの収益を上げていて、最近では、当初のオフィスの 2 倍以上の広さである 7,000 平方メートル（7 万 5 千平方フィート）の敷地に本社を移転したばかりです。

新しい本社には、40 部屋からなるカンファレンスセンター、様々な大きさのコラボレーションルーム、テレビ会議用の部屋、そして従業員が全て集まれる大講堂があり、また各々の部屋には最先端の技術が導入されています。クレストロンコントロール、クレストロンの照明システム、DigitalMedia™、AirMedia™、クレストロンオーディオ、Capture HD®、そして Crestron Fusion® のスケジューリングシステムを含むクレストロンのテクノロジーが、エンドツーエンドで採用されています。



Perion 社では、約 350 名のスタッフが、2 階建てのオープンスペースな建物内で働いています。この企業の、普通とは少し違った特性と仕事内容の性質を考慮しながら、当企業の IT チームは、CEO の指示の元に、シンプルかつ便利な会議室の管理と、企業内に広く設置された全ての AV 機器の管理ができ、且つ企業のスペースデザインと妥協を許さず、美しい外観を損なわないというソリューションを探しました。

「私達が始めて Perion の担当者とお会いした時に、クレストロンのソリューションの主たる便益について説明させていただきました。クレストロンは、システム内が全て同一メーカーの部品で構成された、完全なる、エンドツーエンドのソリューションを提供します。だからこそ私達は、インストールから設置完成まで、さらに設置が終わってからも、システムに関わり、サポートする事ができるのです。」と、プロジェクトを監督した、クレストロン・イスラエル支社ディレクター兼ビジネス開発課のオマー・ブルックステイン氏は述べます。「私達の製品ポートフォリオと現在あるソリューションの多様性はとても幅広く、もし他の企業には合わなかったソリューションでもその他の企業にオファーする事ができます。私達の完全なるソリューションは拡張性があるので、小さな打ち合わせ室から、中サイズのコラボレーションルーム、そして大きな役員室まで対応できます。クレストロンは、コントロールシステムから、インテリジェントなパワーシステム、デジタルオーディオ、ビデオマネジメント、そしてタッチスクリーン、ケーブル、スピーカー、その他諸々のシステム部品までも自社製品です。また Perion 社が、このプロジェクトの後に世界各国の支社においてもクレストロンのソリューションを標準化し採用したことはとても喜ばしいことです。

「Perion 社のプロジェクトは様々な理由からとても複雑でした。第一に、いくつかのシステムは全体的に互いのシステム統合を必要としました。第二に、堅実なソリューション提供のためには、システムのデザインを慎重に行う必要がありました。

さらにはインストールを完了するまでに与えられた時間が短かったという点も課題でした。

同社の IT 副社長と共にプロジェクトをまとめていた、Perion 社の購買マネージャーであるナダブ・キシヨニー氏は述べます。

“クレストロン Fusion の おかげで、 会議室を管理するための完全なる ソリューションを提供する事ができました”

— デビッド・アルファシ / Perion ネットワーク

「プロセス初期には、クレストロンのソリューションが全のパラメータにおいて他者のソリューションよりも良いという事がわかりました。しかし、後々その認識が確信に変わったポイントとして、クレストロンが社内全ての部屋において、また社内全てのマルチメディアシステムにおいて私達が求めていた必要事項の全てを満たす全体的なソリューションを提供してくれた唯一の会社だという事実でした。

購買の観点から見ても、単一のインテグレーターと、単一の製造者とのやり取りをする事は、全てのプロセスを簡素化し、最終的には私達にとって、費用と資源の節約にもなったのです」

インフラと低電圧システムの管理には、クレストロンと取引先との協力企業として、コンサルタント企業のトリプル T が選ばれました。

「Perion は、このプロジェクトに対し、多くのグローバル企業がスケールの大きいプロジェクトを扱うのと同じような形でアプローチしました。

彼らはまずソリューションとメーカーを選び、それからインテグレーターを選びました。そのおかげで、私達がメーカーサイドとしてこのプロジェクトにかなりの初期から関わる事ができたのです。

だからこそ私達は、顧客のニーズを知り、必要条件を満たしたソリューションをデザインする事ができたのです。」ブルックステイン氏は述べます。

「プロセスに初期から関わる事ができる事による利点はとても大きいです。私達のチームには、現在のテクノロジーに関する知識のみならず、今後のテクノロジー展開についての知識があります。

また、私達のチームには、常に次世代テクノロジーの開発に取り組んでいるエンジニアがいます。まだ発表されていない技術、しかし必ず、人々が生活や仕事に今後大きなインパクトをもたらすであろう技術です。

必要であれば、私達のエンジニアチームをプロジェクトに起用し、プロジェクトの実現可能性をテストしたり、あるいはクライアントの要求に応じてカスタマイズする事もできます。

こういった方法で、私達は、このような最も要求の厳しいプロジェクトに対しても、包括的なソリューションを提供する事ができ、さらには多くの場合顧客のコスト削減にも貢献できるのです。」



プロジェクトの中心には、最新のクレストロン3シリーズコントロールシステム (CP3) が設置されており、プロジェクト内の30つの小会議室を含む、会議室全てを管理しています。

また、中会議室には、数々の賞を受賞してきた DigitalMedia プレゼンテーションシステム (DMPS- 300-C) を使用しました。役員会議室と講堂は、4K と UHD サポートをマトリックスする DigitalMedia を基盤としています。全ての部屋で、Crestron Connect It™ (TT-100) シリーズ、またはクリーンとケーブルリアクター (FT-TS600) と統合された FlipTop™ シリーズを象ったケーブルボックスを使用しました。TSS-752 タッチスクリーンは、部屋の外側に取り付けられて各部屋の使用状況と、数日先までの予約状況を表示します。また、壁埋め込み式や天井吊り下げ式に関わらずクレストロンの装飾スピーカーは見栄えが良だけでなく、全ての部屋に音声を流し、レクリエーションエリアや講堂には BGM を流します。



「このプロジェクトの最初から最後まで関わってきた私達にとって、プロジェクトを成功させるための主要な課題は、3か月という期限に間に合わせる事でした。

全ての製品が同一メーカーである事により、事実上システム合が加速され、よりシームレスになる。それが、私達のほぼ不可能と思われたスケジュールを可能にする唯一の手段でした。」 TripleT の CEO である、オファー・オズ氏は述べました。

プロジェクト内全ての AV と照明システムは、数々の賞を受賞してきたクレストロンの企業マネジメントソフトウェアソリューションである Crestron Fusion RV® によって管理されています。

Fusion は、IT スタッフが全てのシステムをリアルタイムで監視する助けをし、もしどこかの部屋でシステムの問題が起こった際には即時に通知します。また Fusion には、ヘルプデスク・リモート設定機能があり、システムを利用する全てのユーザーがタイムリーにサポートを受ける事ができるのです。Fusion のシステムは、Perion のクラウドベースの Exchange システムと統合し、タイムテーブルに基いた部屋の操作を可能とします。会議の主催者は必要に応じ、前もって部屋とシステムを準備する事ができます。会議が始まる5分前には、照明を落としてプロジェクターとスクリーンの電源を入れる事ができます。

そうする事で Perion スタッフは、照明や音声などの技術的な問題を心配することなく、最初からプレゼンテーションに集中できるのです。

私達のオフィスは全て、オープンスペースとしてデザインされています。

CEO 含めて社員は誰も、プライベートな部屋を持っていません。

ですから、会議室は私達にとってとても高価なリソースなのです。だからこそ、私たちにとってそれらを効率的に管理する事は重大な要件なのです。」 Perion 社の IT 課 副課長である、デビッド・アルファシ氏は述べます。

「Fusionのおかげで、私達は会議室を管理する完全なソリューションを提供する事ができました。Microsoft Office 365 のプラットフォームとのインターフェイスを持つ当システムは、全ての会議室の完全な管理を可能にしました。もし会議が予約されているにも関わらず誰も現れなかった場合には、クレストロンの部屋占有センサーが働き、会議を自動的にキャンセルし、その部屋は直ちに予約、使用可能になります。



さらに Fusion ソフトウェアは積極的に会議室の問題を Perion の IT スタッフに警告しますから、会議室はいつもオンラインだし、システムは正常に動作しているのです」

ナダヴ・キショニー氏は付け加えます。「以前のオフィスの時には、私達はよく「あんなに簡単なパワーポイントのプレゼンテーションでさえも、全ての会議は、まず IT スタッフが部屋のシステム設定をしないと始まらないよね」などと冗談を言い合っていたものです。会議主催者のフラストレーションはつづいていく一方でしたし、参加者達には忍耐を強いていたのが現状でした。

しかし今日、クレストロンのシステムのおかげで、HDMI ケーブルを自分のラップトップに差し込むだけで、スクリーンがライトアップされ、会議が始まるのです。このことによってどれほど会議が効率的になったか、そしてスタッフ達はこのストレスフリーな会議に大きな喜びを感じています。さらに、多くのスタッフが共用エリアでスタッフミーティングをするのを好むという事実を発見したので、私達はクレストロンの AirMedia をインストールしました。そうすることにより全てのスタッフが直接、自分のラップトップ又はタブレットからワイヤレスで参加、プレゼンテーションする事が可能になったのです。」

クレストロンの CaptureHD-PRO は、講堂と役員室に組み入れられ、プレゼンテーションのフル HD 画質での録画が可能になりました。録画されたデータは講演者の画像と共に（ピクチャ・イン・ピクチャ）会社のセンターサーバーに送信されアーカイブされます。

キショニー氏はさらに述べます。「最近あったある役員会議では、会議室の使用に関して堅実な決議を行うために、会議室の使用状況を数値で見せるように言われました。私達は、Crestron Fusion のレポートシステムを使い、数分以内で、いつどのように、どれくらいの時間、会議室が使用されているのかを見る事ができました。この時始めて私達は、会議室がどのようにして使われているのかを知ったのです。

今や私達は、憶測ではなくリアルなデータに基いて計画を立て、調整を行う事ができるのです。」

本プロジェクトを実施した Barkai（バーカイ）社の CTO（最高技術責任者）であるシャイ・カドモン氏は述べました。「このプロジェクトは、私が今まで参加した中で最も複雑で、最も美しいプロジェクトでした。

インテグレーターである私達にとって、全てのシステム、構成要素が同一のメーカーである事は、プロジェクトを最高のプロフェッショナルなレベル且つ最速で完了させるためにとても重要な要素でした。最終的な成果は、息をのむほど素晴らしいものでした—視覚的にも、技術的にも、そして他エリアの企業にとって新たな基準を定めたという面でも。

主な設備リスト

- CaptureHD-PRO • TSW-1052 • DMPS-300-C
- C2NI-AMP4x100 • CEN-NSP-1 • DM-MD16x16
- FT-TS600 • Essence スピーカー • AirMedia
- Saros Pendant スピーカー • Cameo キーパッド
- CP3 • TSS-752 • DIN RAIL ライティング

Integrator

Barkai Benny Brookstein Ltd.

www.barkai.com

Architect

Ram Goldberg Architects

www.ramgoldberg.com